

平成24年3月

コミュニティ大宮だより

【大宮公民館だより・
大宮地区社協だより合併号】

絆

きずな

No.3



(大宮地区老人クラブ連合会の皆さん...)

「大宮地区老人クラブ
連合会」

会長 松元 道文

当連合会は昭和三十八年に
結成されて四十七年が経ち、
現在の構成は二十四クラブ、
会員数千九百九十一名で、宮
崎市で最も規模の大きい会
であります。
毎月一回、会長会と女性部
長会を開催し、行政や上部
団体の連絡事項の周知とク
ラブ活動の情報交換を行っ
ています。
大宮地区の行政区域が、大
宮と東大宮に分割されてか
ら老人クラブ連合会の分割
も話し合われ、最近になっ
て規模の大きい連合会の運
営事務が難しいことが理解
されてきて、会長会にて来
年度からの分割が合意され
ました。
しかしながら、恒例の「グ
ラウンドゴルフ大会」「歩
こう会」、それに女性部活
動は引き続き合同で行う事
になっており、「大宮はひ
とつ！」という連携・絆の
強さを実感しています。今
後とも大宮地区老人クラブ
連合会を宜しくお願いいた
します。

- 2～6ページ : 大宮地域まちづくり座談会
- 7～8ページ : まちづくり推進委員会
- 9～12ページ : 大宮地区社会福祉協議会
- 13～14ページ : 大宮公民館
- 15～16ページ : 特別寄稿～「大宮に住んで・・・」河野俊嗣氏
【徒然草】 【編集後記】

発行人：林田 光雄 編集責任者：日高 寛
大宮地域まちづくり推進委員会事務局 (TEL&FAX:0985-31-3433)
この冊子は地域コミュニティ活動交付金を活用して作成しました。

大宮地域まちづくり座談会

平成24年2月28日(火)に大宮地域事務所会議室にて『大宮地域まちづくり座談会』を開催いたしました。林田会長以下4名の方にお集まりいただき、大宮について日頃思っておられる事を気軽にお話ししていただきました。

参加者：



林田 光雄様
(まちづくり推進委員会 会長)



時任 孝俊様
(平和が丘自治会長)



井野 ミサヲ様
(民生委員児童委員協議会
副会長 神宮東在住)



二見 祐子様
(主任児童委員 新地橋在住)

(司会・進行： 地域事務所地域コーディネーター)

司会： 皆様、こんにちは。本日は「大宮地域まちづくり座談会」にご参加下さり、誠にありがとうございます。最初に、それぞれ大宮に住まわれるようになられたいきさつや、地域のリーダー的役職をされるようになったきっかけを教えてください。

林田： 今から42年程前に市の住宅事情がひっ迫してきた頃に、県の住宅供給公社が造成して団地を作った第1号が平和が丘団地でした。池内の小高い山を削って団地を作る、回りには「市営住宅」「県営住宅」を作る、そういった形で完成した団地でした。そして池内小学校ができました。団地ができた一年後だったのですが、学校としてはPTAの役員の充実を目指しました。しかし、なかなか成り手がいない…。そこに引っ張り出されて役員を引き受けたのが全ての始まりですわ(笑)。確か、35歳ぐらいの時でした…。

当時、最初に行った仕事が、「みたま霊園」ができるという話を聞いて、造成前の山から「木」を頂きたい…と申し入れ、PTA全員で貰ってきました。一番多かった木が「山桃の木」だったんですね。それを池内小学校に植えました。それが今の「学校の木」になっているんですね。

そんなこんなでPTA会長等を10年程やらせて頂き、その後、自治会、社協、自治会連合会、まちづくり推進委員会等の会長や役員までやる事になった訳です。

時任： 私は元々この大宮の出身です。地域事務所のすぐ隣の下郷という所で根っからの下北育ちです。教員をしていた30歳前後、西都に赴任していましたが、平和が丘の団地造成の時期に、団地入口付近に家を建てました。もう35年経ちました。最初は自治公民館の保体部の部員になりました。あの頃は皆若くて、行事もいろいろやっていましたね…。バレー大会やソフトボール大会、運動会など、大変忙しかったと記憶しています。そういうこともあって、公民館の主事をやってくれとか公民館長をやってくれとか、最終的には事務局長までやらせていただきました。

30歳から47歳ぐらいまでやったでしょうか。僻地に赴任している時に数年外していただきましたが、教頭時代にも事務局長をしてましたね。その後仕事が忙しくて10年程離れていました。退職を迎えると同時に、自治会長をやってくれないかと依頼があり、お引き受けして2年になります。また、そのように役員をしていた影響で学校週5日制がスタートした平成3年から平和が丘「花づくり運動」を始め現在に至っています。

井野： 私は山崎町の生まれです。20歳で結婚して、主人が当時の警察予備隊にいたものですから、長崎に住んでいました。その後、愛知県の豊川に移ることが決まっていたので、私は直接豊川に行きました。そこに6年住んで、娘は二人とも愛知産まれです…。子どもが小学校に上がる前に今度は宮城県に転勤しました。ですから今回の3.11東北の大震災では知ってる方が多くいてとても心配していました。その後、子どもが小学校低学年時に大分の由布院に引っ越しました。そこに2年居て、主人の退職を迎え、宮崎で自営業を始める事にしたのです。

28年程で仕事を終え、やっと自由な生活ができると思っていた矢先、「民生委員」をしてくれないか…という依頼がきたんです。気ままに生きたいと思っていたのでお断りしようと思ったのですが、子どもの手は離れたし、父や叔父が民生委員をしていたりと、何かご縁があるのかな〜と、人様のお役に立てるならと思い直しお引き受けして20年になってしまいました(笑)。

二見： この地に縁が出来たのは、結婚して、主人の仕事の関係で30年程前に南花ヶ島のアパートに住んだのが始まりです。それから10年ちよとして、今の新地橋に家を構えました。子ども3人が大宮小学校、大宮中学校に通いました。

子どもを大宮で育ててみて、やっぱり大宮って良いな〜って、大宮から出たくないって思います。私自身の中で、子どもたちが大宮の学校でお世話になるからには、必ず何か一回は役員を引き受けようと思っていました。その後、小学校のPTAの副会長をして、いろいろな事が見えてきたように思います。それから、しばらくして主人も退職し、子どもの手も離れた頃に、以前から頂いていた「主任児童委員」のお話を再度いただきました。で…お引き受けした次第です。

司会： 有難うございました。続きまして、皆さんが思われる大宮(もしくはご自分の地域)の『ここが良い点』だと思われる事はどんな事でしょうか？

大宮地域まちづくり座談会

時任: そうですね、ここで生まれ育った私としては、大宮は歴史的に意味のある地域だ…という事です。確かに、ここに住んで歴史的な良さを知ることは非常に難しい事かも知れませんが、子どもたちや住人の方々に受け継いでいって欲しいと思います。最も古くから人の住んだ下北古墳群地区あたり…この辺から神武天皇に繋がる歴史を学ぶだけでも大変意味の有る事だと思っています。私は日頃から大宮の歴史を大切にしたいと思いつけています。

林田: 大宮に住んでみると、なんとも言えず「良いまちだな～」という漠然とした感想が有るんですね。昔からの方々が純朴で協力的で…。それに、県知事をはじめとする著名人も結構いらつしやる。人材は多いと思いますね。とにかく住みやすい所だと思います。

司会: 井野さんは神宮界隈にお住まいですが、いかがですか？

井野: 私の小さい時住んでいた山崎町は遠足と言えば「平和台」か「一つ葉」、ですから下北という所には妙に愛着がありました。今住んでる神宮はとても住みやすいですよ。電車(駅)もバスの便も良いですし、「住めば都」と言いますが、どこかに越したいと思った事はありません。古くから婦人会があり、私もその流れで「すみれ会」というのを作って10人程度で集まれば「お茶」を飲みながらおしゃべりしてますわ…。古い話です(笑)、もう48年ですよ。東京オリンピックの年ですよ～。そうやって地域の人々との交流が生まれ続けているんです。

二見: 花ヶ島も住みやすいです。まだ、私には歴史的な事は分かりませんが、ちょうどまちづくりで「歴史を知る」冊子を発行して頂いたでしょう…。あれで、へえ～と思う事がいっぱい載っていて大変勉強になりました。主人と歩いて回ってみようって話しているんですよ。

司会: それでは、大宮の「もう少しここが…」と思われる事はどんな事でしょう。

林田: 大宮は、その地域内に県の平和台公園を抱えていて、大変緑豊かな地域です。ダイアパレスマンションの北側は住宅の調整区域に指定され、全体的にいろいろな規制の掛かっている地域でもあります。自然保護としてはとても素晴らしい事なんですが、その反面、新たな住宅地が広がらず、北方面には大きなスーパーも無く、下北地区の西部も買い物の不便なエリアになります。この事は、そのまま住民がどうこう出来るという問題でも無いのですが…。せめてもう少し規制の緩和があればと思います。

司会: 高齢化の加速による、買い物・病院の問題等、いかがでしょう。

時任: 平和が丘は非常に高齢化の進んだ団地になりました。多くの40歳前後の方々が入れられた団地が、もう42年。単純に考えても、その時の住人が80歳前後になった…という事です。当然の事ですよ。ですから、私の自治会では65歳以上の全世帯約580戸にアンケートを行いました。生活支援に関してです。回収率99%でした。返ってこなかったアンケートは入院中とかそういう理由だけで、全員返して下さいました。(参加者から感嘆の声!)
現在データの整理中ですが、その中で多かったのが「庭木の手入れをして欲しい」「買い物の支援が欲しい」というものでした。自治会では福祉連絡協議会というのを作って、来年には支援の具体策を話し合っていく予定にしています。
高齢化が進む…その事は取りも直さず、自治会・自治公民館の役割、仕事が大きく様変わりしていく時期になってきたという実感を持っています。

井野: 平和が丘団地にはスーパーは無いのですか？

林田: 団地が出来た時は有ったんですよ。今は無くなりました。そういう事も含めて先程言った規制の緩和によってはお店やスーパーの進出も考えられるかも知れないんですけどね。環境が良いけど生活しづらい団地になっています。
CO-OPってあるでしょ…生協ですね。あれの発祥の地が平和が丘なんですよ。買い物の不便さから宅配のシステムが生まれてきたんですよ。

井野: 神宮東も、とあるスーパーが無くなったり、国道沿いに「安売り店D」とか出来ましたけど、年寄りが日常生活品や野菜を買いに行く所では無いでもんね…。まだ車に乗れるから良いけど、車に乗れなくなったら大変だろうと思いますわ。

時任: 巡回販売みたいなものもありますけどね…それだけではね。

林田: 池内の県住・市住団地に宮崎交通の小型バス(コミュニティーバス)が走り出したのも、つい最近からですね。高齢者の買い物・通院等を考慮して、住民の希望が叶った訳です。

井野: 私の周りでも、車に乗れなくて、かつ近くに連れて行ってくれる親族も無い方は買い物と病院に一番困っていらつしやいますよね。毎回タクシーって訳にもいきませんから。

二見: 大宮以外の事で、主任児童委員として、体験発表などを聴いた事があります。ある地区は子どもの不登校問題とか家庭問題とかを丸ごと受け止めて相談に乗ってる委員さんたちの活動とかあるそうで、ビックリしました。そういう土壌ができて上がっているんだな…って。はたして、大宮でどこまでできるのだろうか。自分たちは何ができるのだろうか…。

司会: 子どもさんの話題になったところで、専門家として時任さんいかがですか？

時任: 不登校問題は、人数が減ってるような報告がされる場合もありますが、実際はどうでしょうか。少子化による子どもの絶対数が減っているからで、環境は間違いなく悪化しています。これは子どもの問題であり、かつ、親の問題でもあります。大宮が

大宮地域まちづくり座談会

そうだという訳では無く、一般論として、他人と上手くコミュニケーションが取れない、他人の話を聞かない、相手の立場を分かろうとしない、相手の痛みが分からない、そのような親子が増えています。慎重にコミュニケーションしていくことで好転する場合もありますが、非常に難しい問題ですね。子どもがどういった家庭環境で育っているか…。大宮の足りない点という話題でしたが、全国的に言われている事として「人間関係の希薄さ」…地域の人々の関係がどんどん薄くなっていく。そういう意味では大宮はまだまだ関係が密に有る方ではないでしょうか。

私は一番のキーワードは「若いお母さんと子ども」のサポートだと思います。

司会: 昔は遅くまで遊んでいたりとすると、近所のおじさん、おばさん、ヘタをすると知らない大人にまで怒られるものですが…。

井野: 子ども会には入っているけど、自治会には入らないっていう若い方が増えていますよね。

林田: 池内小学校はかつて800人を超える子どもたちがいました。今は300人を切っています。少子化って言葉だけで片付けるのではなく、団地に新しい人々が入って来れない、つまり土地の規制緩和もできないし、校区内に新しい住宅地も増えない。人口が増えない訳です。学校の少人数化というのはいろいろな教育的弊害も出ます。専科の先生が居ないとか…。

司会: ちょうど地域の繋がり、自治会加入のお話になりました。

よく耳にするのが「いろいろな行事に参加者が少ない・集まったとしても顔ぶれがいつも一緒」「自治会未加入者が多い」など、そして一番頭を抱えていらっしゃるのが『役員のなり手がいない』だと思います。地域の役員をさせていけば必ず直面する問題ですが、この点についてご意見をお聞かせ下さい。

井野: 高齢者の集まりを企画するでしょ…そしたら、いつも同じメンバーなんです。来た事が無い方に声をかけて「皆でお茶を飲みながらワイワイやるのも楽しいわよ」とお誘いするんですけど固辞される。遠慮なのか本当に嫌なのか…。無理にお誘いしても良くないので、難しいですね。

時任: 子どもや若い方の参加者を増やす努力の一つとして、例えば、少子化で子どもは少なくなった。親も忙しい。スポーツ少年団や習い事、塾もある…。そういう環境で急に行事に誘っても来れないですよ。そうではなく、年度初めに学校と密に連絡を取って、分かっている行事日程を入れてもらうんですよ。いつ何時に地区のこういう行事があります…と。そして、学級単位の行事(レクリエーション)が必ずありますから、それとリンク可能なものはリンクさせるんです。

そうやって初めに組み込んでおかないと飛び込みの行事には、なかなか学校は対応が取れないものです。親御さんも一緒にしましょう。

一番の問題は、「地区の行事を動かす責任者」と「学校」と「PTA」が別個に存在し動いているという事だと思います。学校が地域に出て行く事は非常に無理があります。それ程、今の学校は忙しい…。地域が学校に入って行きます。それが今、求められていると思います。そしてPTAの役員のなり手がいない。これは、まちづくりのリーダー育成で若いお父さん・お母さんの役員研修会とかしていったらいい。そういう親御さんが5年後10年後地域の役員候補になってくるんです。

林田: 昔からの人の多い地域と、生まれも育ちも大宮には関係なく今の住み家として住んでる人に温度差があるのは当たり前でしょう。昔からの住人同士では、役員もなんとか頼んでやってもらう事もあるでしょうが、若くて仕事の現役バリバリの人に自治会の役員とか持っていて、受ける方も辛いものがある…。その中でPTA役員というのは、子育て中の親御さんがなる役職だから、地域にとっても大切な人材ですよ。

二見: うちがまさに次の自治会長選に苦労しています。うちは一年毎の交代と決まっていますが、次の候補者が現役世代の方々になってきて、苦心しています。

井野: 役員って、一步踏み越えるまで…なんですよ。そう思います。

先日、ある会議でいろいろ突っ込んだ意見を言って下さった方がいたから、皆さんで「あの方に次の役員をお願いしたいわね」ってなってお願ひに行ったら、しっかり断られたそうです(笑)。

林田: 今は自治会長が忙しくなり過ぎていますよね。昔は自分の自治会をまとめておけばよかった。でも今では自治会長にいろいろな仕事をさせるでしょ。地区社協やまちづくり推進委員会を始め、いろいろな団体の仕事がある。これはたまったもんじやない…って思う人も出てきますよね。自分の所の自治会長を見て「これは自分にはできない!!」ってね。

井野: 確かに大宮地区で行われる全ての行事に、自治会長さんは何らかの形で参加されていますよね…。

林田: 地区社協を作る時に、自治会長から何人、民生児童委員から何人と決めて、いろいろ話し合った末に発足したんですよ。でも、もう当時の民生児童委員は井野さん以外は全員辞めてしまわれましたね…。ただ、役員の仕事について思う事は、若い方で仕事をしながらやるのは大変、だから定年等でリタイアされてる方を…って事になるんでしょうけど、一生懸命働いて、やっとゆっくりしようと思った矢先に役員の依頼が来ると、それはちょっとという気持ちになるのも理解できますよね。でも、自分がやってみて、とにかく『人を知る』という事がすごく財産になっていますね。こういう役職を引き受けてなかったら、絶対に出会わなかった人々や知らなかった方がいっぱいいらっしゃる。

新役員を引き受けるかどうか、悩んでいらっしゃる方には、是非ともその事を伝えたいですね。

二見: おっしゃるとおりですね。本当に地区の方々を知ることができました。地区外にも輪が広がりました。そして、ここの地域事務所も、主任児童委員をしてるからこそ、社協を通じて寄せていただくようになった訳ですから…。

大宮地域まちづくり座談会

うちは75世帯の小さな自治会で、会長・副会長・会計の3人だけでいろいろな行事を回していけないといけません。だから無理せず、できる事だけをやっています。

林田: 自治会も、大きな自治会から小さな自治会までいろいろあります。ある程度の会員数がないと役員選びもそつだし、行事をやるにしても大変なものがあります。最近では「防災訓練」ですね。昔は自治会単位でやっていたのを、今では合同という動きも出てきています。

司会: では、皆さん方は、自分の後継者をどのように育てたり、次年度の準備をされたりしていらっしゃるのでしょうか？

井野: 私の場合はすでに辞めるつもりでいた時期を通り超えて今に至っているので、次の役員さんは自分で知り合った方から日々の会話の中でそれとなくお願いしていくしかないのかなって思っています。

林田: 私がそれぞれ役員をやっていた時の、他の役員さん、民生児童委員さんとか、とにかく選出方法は全部一本釣りでした。個人的にお話して、納得していただいたうえで役員になってもらう、これしか無かったですね。自治会長を交代するときは、ちょうど時任さんみたいな方がいらっちゃって、公民館長とか経験を積まれた方だったので、非常にお願いし易かったですね。

時任: やはり、若い方を育てるとというのが非常に大切ですね。役員の中に若い方を入れておく、そして経験を積んでいただく、そうしないと、急に役員の方の主要なポストをお願いしても大変だと思います。今年は地区長名で「評議会」というのを設置してそれぞれのエリアで役員候補を探して下さい・・・とやったんですよ。しかし、それでも上がって来ない。難しいですね。先程、人間関係の希薄さって言いましたが、気軽に「あの人がいいんじゃない」と本人の知らない所で言えなくなったんですね。

林田: それに、役員にもっともって女性を登用すべきだと思います。女性ならではの人の接し方で場が和む事も多々ありましたよ。

司会: 「絆」という事がこれほど言われた年はない一昨年、昨年でした。宮崎も口蹄疫・新燃岳噴火、そして東北の大震災がありました。皆さんが考える「絆」とは、今後大宮が目指すべき「絆」の姿とはどのようなものなのでしょうか？

井野: 福祉にとって「絆」って本当に大切な事なんです。国富町の方が書かれた「おっちゃん」という本があるんですよ。感動します。人と人の「絆」、繋がり大切さが書かれた、実に素晴らしい本です。昔のご近所付き合いの姿が書かれていますが、困った時に助け合う互助の精神が確かにあった時代です。隣近所の事をそれなりに知ってる、だから何に困っているか分かる。今は、プライバシー問題になっちゃうでしょうね・・・。

林田: まちづくり等でも思うのですが、市長も言われた「小学校単位のまちづくり」、やはり子どもさんが小学校時代の親御さんの交流が一番深く繋がるのかなと思います。それが中学校へ繋がっていけば、一番良いと。人と人のお付き合いに距離という要素が入る、そうであれば、離れた地域間の交流は難しい場合もありますよね。

司会: 子どもを叱る大人が少なくなったという実感はありますか？

井野: ありますね。私は見かけたら注意しますが・・・。

時任: 「開かれた学校」という言葉があります。この「学校を開く」という事には3つの要素があります。まず、学校の様子が地域からよく見える、分かる、情報がちゃんと外に出てるって事です。学校内に情報が留まっていない、特に悪い情報も出てくる。もちろん、個人情報に留意したうえで・・・。

次に、学校の中に地域の人が入っていける。体育館等の施設も開放されて、地元の方々が学校内を見ることができる。

そして、3つめが、先生方が地域の情報を学校に入れる。つまりインプットの側ですね。大宮地域でどんな活動が行われているか知る、これが大切なんです。この要素の中で一番欠けているのが3つめですね。先生方が日々職務に忙殺されて、地域を見るゆとりが無い、知らない。校長先生はいろいろな会議に出られるから知っているけど、末端の先生方までなかなか周知されない。だから行き違いが起こる。地域の情報を学校に入れてあげる、風通しを良くする。そうすると生徒指導上も随分改善されていくと思います。特に、いろいろな事に困っておられるのは、生徒では無く、親御さんたちですね。子育ての問題や悩みを一人で抱えておられる。学校も地域も知らない。そういうのを何度も見てきました。地域で子どもを育てる・・・その姿勢はまさに「絆」ですね。

井野: 小学校で年2回程「情報交換会」というのがあります。ついこの前もあって行ってきました。地区別に、いろいろな情報を共有して問題の解決に繋がりたいという事ですね。

二見: 情報は来ても、その問題を抱えていらっしゃるご家庭に、主任児童委員とはいえ勝手に入れないというジレンマはありますね。いろいろな方面からアプローチしてそのご家庭が会ってもいいという気持ちになって頂いて、初めて訪問できます。

井野: 子どもがよく泣いているという情報を頂く場合があります。虐待で大変なことにならないうちに・・・と考え、夜に近くまで行って様子を伺った事もありました。しかし、入る訳にはいかないんですよね。

司会: 今のこの飽食の日本で「餓死」のニュースがありました。ここ大宮でもあり得ない話ではないかも知れません。

時任: 今の自治会活動も昔と違って来たと思う中で、自治会長としては、子どもの問題は高齢者の問題であり、高齢者の問題は子どもの問題であるという認識が必要だと思います。それは、地域から元気な子どもたちや高齢者の声が聞こえる・・・いわゆる異世代間交流を深める事だと思います。たとえば、池内小学校では長期休暇中の登校日を止めて登館日にしましたね。公民

大宮地域まちづくり座談会

館に子どもたちが登館してくる訳です。基本的に全員の子どもたちがきます。これを普通の休日に「さあ公民館に集合」と言っても集まらない。登校日だから来るんですね。そこで、いろいろな方々と触れ合いをする。そうやって「絆」ができると、子どもが家に閉じ籠らずに外に出るようになる、そのような活動を広げていくべきでしょう。学級単位で持っている課外授業を地区の高齢者との交流で何かをすとか…。

井野: 神宮東は「敬老会」に、昔は紅白まんじゅうだったのを、今はフラワーアレンジメントを作って差し上げているんですね。その作成を小学生に手伝ってもらっているんです。そして小さなメモを書いてもらって渡しています。すごく喜ばれます。

林田: 私の経験でも地区内で「孤独死」というのがありました。それが、ほとんど一戸建てでなくアパートでの孤独死なんですよ。戸建てではまだ近所付き合いがあり、身内の方の訪問もあるようです。庭に出る姿を隣近所の方が目にする機会も多いですよ。でも、アパートで高齢者の一人暮らしの方が部屋で倒れたりしても、近所付き合いをされない方は気がつかれない場合が多くなります。

井野: だから私はいろいろな方を訪問して、何か有った時のために「連絡先とか教えておいて下さい」って頼んでいるんですよ。病気だけとは限らないでしょう。有事の際のために…って言うと、断られる方はいませんよ。安心カードの件もありますし。

司会: まちづくり推進委員会としては、どのような事ができるのでしょうか？

林田: 福祉の話ができましたが、私が自治会をやっていた時に、とにかく「社会福祉協議会」を作らないと民生児童委員の方と自治会の連携が取れないという状態でした。当時、宮崎市で社協の無い地区は大宮ともうひとつの2地区だけでした。大宮に社協を作り、民生児童委員と自治会が連携するようになりました。そこに、まちづくり推進委員会が設立され、高齢者福祉の充実を図っていく部会が、有効に予算を使える共催事業を立案していくようになった訳です。

二見: 民生児童委員側から言えば、支援ボランティア制度を取り入れて、子どもたちの支援ができるようになるといいなと思っています。

司会: それでは、最後になりますが、この広報誌「絆」を読まれる大宮地区の皆さんに伝えたいメッセージがあればお願いします。

時任: 私は60での定年を迎え、これからは地域に恩返しができるばと自治会長をお引き受けしました。ですから、役員をする事は全然苦では無いんですよ。それでも、もっと若い方に入ってきていただいて、一緒にやりたいなあと思います。そして、同じ考えの人ばかり集まっても何もならない、いろいろな意見を持った方々に役員になってもらいたいです。それから、先程言いました、学校とPTAと私たち自治会の3者が、それぞれ大きな力を持っているのに、今は分散している。これをコーディネートしていくのは地域だろうと思います。特に学校は非常に厳しい状況がありますから、できれば4月当初に学校長を呼んで、まちづくりのリーダーたちと年間計画を一緒に練るような進め方ができると良いと考えます。微力ながら学校に携わってきた者として協力していきたいと思っています。今後とも宜しくお願いします…。

井野: 私は民生児童委員として残りの任期を全うしたいと思っています。特に「孤独死」や「虐待」等が起らないよう見回り・声かけに努めます。過去にたまたま訪ねた方が倒れていて、病院に運ばれてギリギリで助かった方がいます。今でもお元気で過ごされていますが、「貴方がいなかったら死んでいたわ」って感謝されます。本当におせっかいながら見回りしていて良かったと思う瞬間でした。これからも高齢者の方々の為にお役に立てればと思っています。自分も十分高齢者やっとなに…(笑)。

二見: 民生児童委員さんが通常の見回りや声かけをされるのに対して、私たち主任児童委員は「何か問題がある子どもさん」という前提が分かっている訪問になります。そうなると、訪問した際に会ってもらえない場合や、何も問題ありませんと帰される場合、「うちの情報をどこから聞いたのか!？」という事になり、すごく難しい立場です。ですから少しでも学校と連携して、先生方からフォローがあったうえで訪ねられるような体制になれば良いなあと思います。個人情報保護法が壁になっている実態は間違いなくあります。しかし、そうは言っても、子どもに何かあってからでは遅いので、外から様子を伺うなど、できるだけ事はしていきます。

司会: では、会長まとめをお願いします。

林田: まちづくり推進委員会は今、6つの部会に分かれて活動しています。年度当初に活動計画を立てますが、環境保全部会の「新別府川草刈り清掃」事業が最後でしたね。ほとんど計画どおりに実行されてきました。地域の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。私たち役員は、基本的に、まちづくり推進委員会は「大宮地域のために何が出来るか?何をすべきか?」ということを考えるのが与えられた課題だと思っています。それと、大宮地域内には多くの団体があります。それらの団体と色々な共催事業を押し進めていく事が大切だろうと思うのです。例えば、生涯学習推進協議会と「成人式」や「文化祭」をやります。青少年育成協議会のフォローや学校の行事の支援もやってきました。各団体の特徴がありますね。資金的な援助を求める事業もあるでしょうし、人的な支援を求める場合もある。それぞれの団体と連携を図り、この大宮がより良くなる為の努力をこれからも続けて参りたいと思います。地域の皆様のご協力を何卒宜しくお願いしたいと思います。

司会: 本日は長時間に渡り、有難うございました。

大宮地域まちづくり推進委員会

平成23年度事業

平成23年度事業にご協力いただきありがとうございました。各部会の主だった事業をご紹介します。おかげさまで全ての事業を無事終了することができました。役員一同心より感謝申し上げます。

◆防犯・防災部会◆

防災訓練（5エリアと4自治会）

神宮エリアの
消火訓練



下北方町東西区
自治会
AED救命法訓練



DIG（災害想像ゲーム）
による下北方町南自治会
図上訓練



防災LED&ラジオ
「LED懐中電灯・ラジオ・防犯
ブザー・携帯電話充電機能」が
ついた手回し充電式を各自
自治会に1台ずつ配布しました。

◆地域福祉部会◆

高齢者福祉講習会（平成23年10月30日）



宮崎大学医学部整形外科医の渡
邊信二先生を講師にお招きし、
約120名の参加者を得て実施しま
した。
アトラクションとして大宮中吹奏
楽部の演奏をしていただきました。



ロコモ体操
「要介護や寝たき
りにならないた
めの体操」



安心カード
「有事の際のために連絡先等を書
き込んでおきます。ご希望の方は
大宮地域まちづくり事務局までお
問い合わせください。」

◆環境保全部会◆

新別府川の草刈り清掃作業（平成23年10月2日と平成24年2月26日）



秋と冬の2回の清掃活動
で約140名の参加者が
あり、冬には10号線バ
イパスから新別府川の上
流部まで草刈りをしまし
た。



大宮地域まちづくり推進委員会

平成23年度事業

◆スポーツ・健康部会◆

ウォーキング大会（平成23年7月3日）

スポーツ・健康フェスタ（平成23年8月7日）



全長8kmと3kmの2種類のコースで実施



古賀総合病院のご協力を得て様々な検査や診療相談などに約300名の参加がありました。



健脚コースは平和台駐車場から宮崎城往復、池めぐりコースは新池の周回で約300名の参加がありました。



宮崎市地区対抗駅伝大会



男子は15チーム中3位入賞
女子は10チーム中6位
今回女子は大宮中の「甲佐かな」さんが区間賞に輝きました。
走ってくださった池内小・大宮中・一般選手の方々、本当にお疲れ様でした。

◆学校・地域社会連携部会◆

花づくり講習会

（平成23年11月3日大宮地区ふれあい文化祭共催）



石碑紹介リーフレット（22年度発行）の『深読み書』を作成しました。編さん委員の方々の大作です。



宮崎市の花づくり大会で入賞経験のある下北方南自治会の濱砂さんを講師にお招きし実施しました。（午前、午後の2回各30名参加）

◆総務・広報部会◆

リーダー研修視察旅行（平成23年9月2,3日 視察先：雲仙岳災害記念館）



島原市職員の方による研修



被災した旧大野木場小学校跡



ドーム内に展示された埋没家屋

大宮地区社会福祉協議会だより

〒880-0035 宮崎市下北方町下郷6101
TEL：0985-29-3791・FAX：0985-29-3791

ともに助けあい 支えあう 福祉のまち 大宮

平成23年度 大宮地区社協活動報告

平成23年度大宮地区社会福祉協議会では、社協創立4年目を迎え、「活動の更なる充実」を目指して、関係団体や地区住民等の皆様方のご理解とご協力をいただき各種の事業推進に取り組んでまいりました。

以下がその活動の概要ですが、実施回数や参加者の増加、活動内容の充実に積極的に取り組み、「活動の更なる充実」を図ることができたのではないかと振り返っております。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

大宮地区社協としましては、本年度の成果や課題も踏まえ、「ともに助けあい 支えあう 福祉のまち 大宮」にふさわしく、平成24年度も大宮地区内の福祉課題に対応する活動を推進してまいりますので、地域住民の皆様方に一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

課 題	事 業	活 動 状 況
○広報紙の発行及び啓発活動	*「社協だより」等の発行	*下記3回の広報紙発行 ・ 9月「23年度の活動計画」等 ・ 12月「23年度の事業推進状況」等 ・ 3月「23年度の活動報告」等
○地域福祉課題の把握と対応策	*福祉懇談会の推進	*地域での実態に即した実施要綱への見直し関係団体等への推進協力依頼 13地域の実施支援
○福祉ボランティアの募集と育成	*福祉協力員研修会	*社協の福祉活動の理解と福祉協力員の関わり・意識の高揚 任期終了に伴う協力員の確保 福祉協力員のジャケットの整備と着用依頼等 参加者 121名
○安心して暮らせる防犯・防災対策	*安心カード事業の推進(共催)	*安心カードの増刷と希望者への提供 高齢者生活アンケートの実施
○閉じこもり防止と相互交流推進	*ふれあい会食会の推進	*自治会等への実施依頼 13地区23回の実施支援
○高齢者の福祉に係る制度、医療、介護等に関する啓発の推進	*高齢者福祉講習会(共催)	*講演&体操「ロコモティブシンドローム」 講師 宮崎大学医学部 渡邊信二 先生 演奏 大宮中学校吹奏楽部 参加者 120名
○地域における高齢者等の生活支援活動の推進	*高齢者等生活支援モデル地域の育成	*生活支援の組織体制づくり等を行う2地区(団体)への助成
○高齢者健康増進及び相互交流	*高齢者健康増進事業	*高齢者グラウンドゴルフ大会の開催 参加者 26チーム 152名
○児童青少年の健全育成及び子育ての支援事業の推進	*子育て講演会&みんなで遊ぼう	*「健やかな命を育むために」 講師 どんぐり子ども診療所 糸数智美 先生 各種ゲームを通じた親子間や子ども同士の交流 参加者 82名
	*地域における子どもの福祉活動の実態調査	*地区内の自治会行事や小・中学校等の教育活動における福祉活動の状況を調査 福祉への心育成への活用

・(共催)は「まちづくり推進委員会」との共催

大宮地区社会福祉協議会だより

高齢者グラウンドゴルフ大会(H23.10.8)

昨年の大会後の「来年もあるっしょ？」の声に今年も開催しました。健康増進と交流を目的に昨年を上回る152名の参加があり、会場づくり、スコア集計、後片付けなど全て参加者の皆さんにお手伝いいただき「また、来年ね。楽しみにしてるよ」と、うれしい言葉も頂戴しました。



福祉協力員5年表彰・福祉協力員研修会(H23.11.12)



研修会に先立ち、「福祉協力員5年表彰式」が行われました。5年勤続の42名の皆様が表彰を受けられました。

浜田 至様	竹野鈴子様	長友 眸様	森山直子様	長友文子様	長友弘子様
加藤 貢様	木下孝子様	中八児京様	小坂美和子様	小川テルコ様	橋ウメヲ様
西帯野キミ様	西森みさ子様	寺原初音様	上西和子様	河野美恵子様	木村晶子様
林 敏久様	村上利春様	山田まり子様	深江祐子様	宮崎美智子様	竹野逸夫様
廣末雅子様	森山重徳様	水口直信様	福留シツ子様	福原雅子様	光田トシ子様



服部通子様 小倉フミ様 舟橋布子様 木原和子様
武田新一様 川越則子様 武藤康子様 児玉 弘様
江藤妙子様 原 和子様 大西純子様 松山敬蔵様
おめでとうございます。

研修会では、地区社協の活動内容説明と2地区による事例発表が行われました。

また、福祉協力員ジャケットの配布を行い、活動時の着用をお願いしました。



子育て講演会&みんなで遊ぼう(H23.11.6)



系数先生（どんぐり子ども診療所）のお話に笑ったり、うるうるしたり、納得したりとてもステキな時間を過ごしました。

子育ては「教える、ほめる」が基本です！のお話に待つことの大切さ、自分にとって都合のいい子を求めてはいけないことに気づかされました。

最後に「『手をかけて、目をかけて、声かけて』いくことの大切さ、その成長を見守れることの素晴らしさを知ってもらいたいと切に願います」と結ばれました。



地域における子どもの福祉活動実態調査

大宮地区社協では、地域等の行事や事業等における子どもたちの福祉活動の実態を把握するための調査をいたしました。

各自治会、小・中学校、青少年育成会議、大宮公民館に依頼し回答をいただきました。

・活動状況(概要)

- ①運動会（競技参加、交流活動）
- ②祭り（神輿参加、演芸出演、出店手伝い等）
- ③敬老会（プレゼント作成・配布、演芸出演等）
- ④清掃活動（一斉清掃ゴミ拾い、資源回収等）
- ⑤文化祭（作品出品、発表等）
- ⑥高齢者ふれあい会食会（演芸出演等）
- ⑦交流活動

餅つき大会・グラウンドゴルフ大会・親睦会
公民館登壇日・ラジオ体操・ウォーキング等

⑧計画中の活動

地域内施設等訪問・映画鑑賞会等
社協としての事業検討の参考にさせていただきます。

大宮地区社会福祉協議会だより

ふれあい会食会



「元気じゃった？久しぶりやね」「今度はいつあると？」の声にスタッフも「やってよかったね」



各スタッフの紹介です。



会食の準備OK

今年度は、初めて開催された地域もあり回数も増えました。準備会を重ねその地区で可能な形で開催されました。笑顔と「楽しかったあ」の一言にスタッフもまた、がんばれます。

民生・児童委員さんや福祉協力員さんなどをさせていただきよい機会になりました。



血圧はばっちりですね。



福祉懇談会(H23. 4~H24. 3)

東日本大震災から1年、まだまだ傷は癒えていません。災害時又は日常生活の中で支援又は見守りの必要な人を把握し、誰が誰を見守っていくかの確認ができていることは大切なことではないでしょうか。

福祉懇談会は、自治会役員・民生委員児童委員・福祉協力員・老人クラブ等の皆さんが参加し、見守りの取組みの確認や情報の収集、提供、共有することで連携体制の確立を目指します。また、福祉課題の解決に向けての協議の場になります。

要援護者の情報は日々変わります。地区によっては2~3回開催している地区もあるようですが、福祉懇談会にとらわれず可能な形で情報交換会を開催していただきますようよろしくお願いいたします。



大淀・大宮地区社協合同研修会(H24.1.20)

大宮地区社協と同時期に設立された大淀地区社会福祉協議会から視察研修のお話をいただき、合同の研修会として下北方自治公民館を会場にして開催いたしました。

全体会と各部会に分かれての協議や情報交換が行われ、他地区の活動を知るのによい機会になりました。



大宮地区社会福祉協議会だより

平成23年度 法人募金協力企業のご紹介

共同募金へのご協力ありがとうございました。

奥野歯科・新城眼科医院・めがねのせき・尾田整形外科・細川レディースクリニック
木下内科医院・高木内科胃腸科医院・龍光園・仕出し弁当木村屋・常盤産業
石川外科胃腸科医院・平和台病院・フランス菓子Mbleu(エムブルー)・木下動物病院
神宮医院・林歯科医院・いしかわ内科・東皮膚科・つまがり整形外科医院・丸山畳店
たはら小児科・西山歯科医院・そばの吟匠庵・ヘアサロンまつうら・大宮ラーメン
あやべ動物病院・大宮通信・高鍋信用金庫(宮崎北支店)・ジョワドトレーズ・神宮歯科
とん風・あづまや(洋服)・薩摩蒸気屋・パリサンク・野町モーターズ商会
加藤歯科医院・坂本運送・椎クリニック・高木耳鼻咽喉科・明林堂書店(神宮店)
宮崎県 月の友・有澤酒店・渡辺内科医院・渡邊謙悟・宮崎県保険医協会
(株)緒方塗装・番美・山本農機商会・K&Kほそかわ・大宮小前歯科・古賀総合病院
医療法人康友会友絵こどもクリニック・楠元内科医院・いりえ歯科小児歯科医院
医療法人仁和会介護老人保健施設むつみ苑・石川クリニック・東亜自動車(株)
宮崎大同青果(株)・(有)カギハウス宮崎・(有)壱岐ビル
くらもと・花ヶ島歯科・(有)三共しろありセンター
大迫整骨院・番番・有水ガラス店・宮崎花ヶ島郵便局
喫茶ろくろ・うを旬・山本開発(有)・(株)シエリーズ
横山内科医院・ミント薬局・山内歯科・(株)宮崎デンソー (敬称略・順不同)

愛のご寄附

大宮地区社会福祉協議会への香典返しありがとうございました。

平成23年11月 寄付者 坂元 玲子様 (故 坂元 忠實様)

平成23年12月 寄付者 友森みち子様 (故 川越 芳子様)

故人様のご冥福をお祈り致しまして、いただきましたご寄附は、
大宮地区社会福祉協議会の活動運営に有効に活用させていただきます。

☆「宮崎市社会福祉大会」報告☆

平成24年2月15日(水)宮崎市文化ホールで宮崎市社会福祉大会が開催されました。宮崎市長表彰で大宮地区の民生委員児童委員の小川富王子さん(15年以上)深江久枝さん(9年以上)が表彰を受けられました。おめでとうございます。

小川富王子さんの「地域の皆さんに支えられて続けることができました。この受賞を糧に地域の皆さんの生活や福祉の向上に貢献していきたい。」との感謝のことばに大宮地区社協としても誇りに感じました。

【ひとりごと】

地区社協の事務局員になっていろんな地区の行事にお邪魔させていただきました。しめ縄づくりや節分祭。餅つきやクリスマス会に季節のお祭りなど子どもたちや住民の皆さんの笑顔に元気をもらいました。スタッフの皆さんに感謝しながら、これからも続くといいなあと思いました。



大宮公民館だより

〒880-0035 宮崎市下北方町下郷6101
TEL : 0985-20-3509 ・ FAX : 0985-38-5927

平成24年大宮地区成人式が開催されました

おうばいとうり

桜梅桃李

～自分の花を咲かせよう～

平成24年成人式は、地域に密着したかたちで、1月8日（日）宮崎市・宮崎市教育委員会・大宮地区成人式実行委員会主催にて開催されました。新成人者185名（男子83名、女子102名）を迎え、第1部（式典）、第2部（地区行事：アトラクション・交流会）の内容を、実行委員会メンバー（新成人からも17名が実行委員として参加）をはじめとする、地域の皆様方の温かいご支援、大宮中学校生徒さんの協力もいただき、とどこおりなく終了することが出来ました。

第1部式典では、大宮中卒業生で俳優の「真鍋敏宏」様から温かい激励のおことばをいただき、第2部では大宮中学校吹奏楽部のすばらしい演奏、大宮小学校6年生による演舞に、一同感激し、その後の交流会では、いつもながら久しぶりの再会に、尽きることのない話がかはっていました。新成人者の一層の活躍を期待いたします。

なお、新成人者には大宮地域まちづくり推進委員会の支援を受け、記念写真が贈られました。
※「桜梅桃李（おうばいとうり）」は、新成人者が決めたスローガンです。どんな花が咲くのか楽しみ！



新成人者代表決意のことば



お祝い激励のことば 真鍋敏宏様



大宮小学校6年生 演舞



恩師お祝いのことば

平成24年度前期大宮公民館利用代表者会議を開催いたしました。

公民館を利用いただいている、自主グループ代表者の方々に集まっていただき、24年度前期（4月～9月）の公民館使用についての調整会議を行いました。現在運動系・学習系合計78団体が登録されておりますが、利用は「1団体、月2回まで」のルールに従って調整していただきました。

なお、自主グループは、毎年登録申請の手続きが必要となりますので、早めに申請書類を公民館窓口まで提出願います。

大宮公民館だより

23年度講座終了と前期公民館講座受付開始について

昨年5月からスタートした、23年度公民館講座は、12月に終了いたしました。受講生の皆さんには熱心に受講いただきありがとうございました。

平成24年度の前期講座については、4月28日締切（必着）にて受付予定です。大宮公民館開催予定講座は下記の通りですが、詳細につきましては、宮崎市よりの各家庭に配布（4月上旬頃自治会経由）される「前期公民館講座案内」にてご確認ください。

（※開講講座は、最終調整中であり、変更される場合もあります。申込方法についても宮崎市より配布されます「前期公民館講座案内」で確認願います。）

24年度大宮公民館 前期主催講座のご案内（予定）

講座名	講師名 (敬称略)	曜日・回数	時間帯	実施日	定員	講座内容	備考
パソコン教室 エクセル入門	坂本 誠司	毎週火曜 6回	9時半 より	5/15・22・29 6/5・12・19	17名	基本操作、文字入力、簡単な表計算に挑戦します	教材費あり
パソコン教室 デジカメ教室	松浦 洋美	毎週水曜 5回	9時半 より	5/16・23・30 6/6・13	17名	撮影した後の処理に挑戦します	教材費あり 要デジカメ
健康ヨーガ教室	山田 積子	毎週月曜 6回	13時 半より	5/14・28 6/11・25 7/9・23	25名	動と静の組合せで個人にあった運動を	
俳句入門教室	石川 誠一	隔週木曜 5回	13時半 より	5/17・31 6/14・28 7/12	20名	5・7・5の17文字で四季を表現します	要歳時記
楽しいパンづくり	濱砂 昌子	隔週水曜 5回	9時半 より	5/23・ 6/6・20 7/4・25	20名	家庭で手軽なパンづくりに挑戦します	教材費あり
大宮地区の歴史 探訪	瀬ノ口隆宏 他4名	隔週火曜 5回	13時 半より	5/15・29 6/12・26 7/10	20名	大宮地区の身近な文化財・史跡を見学します	
子育て交流教室	曾山 喜美	隔週月曜 6回	9時半 より	5/14・28 6/11・25 7/9・23	親子20組	親子での演奏、体操の他子育て中のママの交流	教材費あり 幼児とママ
夏休み子ども書道教室	矢野 一男	土曜4回	9時半 より	7/14・21・28 8/4	20名	小学生対象の書道教室 夏休みの課題に挑戦	
子ども体操教室	黒木 えい子	土曜5回	9時半 より	6/30 7/7・14 ・21・28	20名	小学生（1年～3年）対象の楽しい体操教室	教材費あり



自主グループ紹介：

大宮公民館では78のグループが自主グループとして活動されています。今回はそのうち4グループについて紹介いたします。なお、内容に興味のある方は、公民館までお問い合わせ下さい。

「紅葉クラブ（卓球）」 「書美会（ペン習字）」 「木目込み人形作り」 「大宮アート（油絵）」



月2回ラケットを握り体を動かしています。楽しいですよ！



ペン習字に取り組んでいます！



お正月用のおめでたい人形（かえるさん）が出来上がりました！



油絵に取り組んでいます。いつも楽しい時間が過ぎていきます！



特別寄稿

『大宮に住んで・・・』

河野俊嗣（下北方東区在住）

知事の河野俊嗣です。妻や子供2人と一緒に、下北方町の知事公舎に住んでいます。大宮地区の皆さんには、平成19年に副知事公舎に入居して以来、大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。

私は毎朝、小学校4年の娘を送りがてら、公舎から平和台公園までの間、1時間ほどウォーキングをしています。ジャージ上下に、帽子とサングラス姿。娘から「変なオジサン」と言われながら、時に「しっしっ（あっち行って）」と追い払われながら、途中まで集団登校の列にくっついて歩いています。もしそんな私を見かけても、不審者だと思わないでください（笑）。



毎朝、さわやかな空気に包まれ、子供たちの声や姿に元気をもらいつつ、この町の落ち着いた朝のたたずまい、大変心地よく感じています。

そして、何と言っても平和台公園の素晴らしさ。市街地の高台に位置する、まさに「緑のオアシス」です。いつも、多くの皆さんがウォーキングやジョギング、体操などを楽しんでおられます。

そのシンボルが「平和の塔」。高さ37mのモニュメントは、近くから見ても遠目から見ても、凛とした力強い



シルエットが印象的です。毎朝、階段を上り下りしながら、晴れの日も雨の日も美しく空に映える姿に見とれ、そして独特の空気感に身の引き締まる思いがしています。

私は平成17年に、総務省からの出向で宮崎県庁にまいりました。それまで、仕事でも個人旅行でも、宮崎には来たことがないと思い込んでいたところ、先日、実家（広島県呉市）の両親が、こんな写真を含むアルバムを送ってくれました。



これは昭和44年、実家が営む家具店の社員旅行の写真です。当時5歳だった私も連れられて、平和台公園をはじめ、こどものくにやサポテン公園、鶴戸神宮など、県内の観光地を回ったようです。

それから40年以上経った今、毎朝毎朝この階段を上り下りすることになるとは、その当時の私はもちろん、両親も想像さえしなかったことと思います。＜赤い糸＞でつながっていたのでしょうか。私としては、少々うれしい思いもしています。そのアルバムには、こんな写真もありました。

昭和39年の東京オリンピックでは、聖火リレー第二コースの起点に選ばれ、9月9日、この地に聖火が運ばれたとのこと。私の誕生日の翌日です。これも不思議な縁。ますます愛着がわいてきます。

平和の塔の設計者は、当時の日本彫刻界の第一人者、日名子実三氏。日本サッカー協会（JFA）のシンボルマーク「八咫鳥（やたがらす）」の製作者でもあります。八咫鳥は、神武東征の際に道案内としてつかわれた鳥。



この塔の下部、巖室（いつむろ）の青銅扉には、神武天皇が美々津からお船出されるまでの様子などが浮き彫りになっています。また、近くには、神武天皇が東征まで過ごされたという皇宮屋（こぐや）もあります。古事記編さん1300年にあたり、改めて大宮地区の豊かな文化的・歴史的資源を見つめ直し、しっかりとアピールしていきたいところです。

その点、平成22年12月に作成された「大宮地域石碑リーフレット」と、今年2月に作成された「石碑文から町づくりを知ろう」という冊子は、とても参考になる貴重な資料です。大宮地域まちづ

くり推進委員会をはじめ、関係の皆さんの熱心な取組みに、深く敬意を表します。

さて、昨年9月19日の敬老の日、下北方地区の敬老会に参加させていただきました。通常、知事が出席するのは、県全体で行われる老人クラブ連合会（さんさんクラブ宮崎）の大会など。市町村長さんとは異なり、地区ごとの敬老会に出席することは稀だと思います。同じ地区に住んでいるということもあり、お誘いいただきました。

真新しい下北方公民館にて、和やかな雰囲気で行われた敬老会。おかげさまで、神楽の舞や子供達の歌、マジックショーなど、一緒に楽しむことができました。



このような地域の絆、世代間の交流、大切にしていきたいところです。私は仕事の都合で参加できませんでしたが、妻や子供たちは、地区の運動会や避難訓練に参加しました。運動会は賞品がいっぱいもらえると子供はノリノリでしたし、妻も、こういう行事のときであれば面識のない方とでも話しやすいと喜んでいました。



でいました。

私も、子供の小学校と中学校の、いわゆる「おやじの会」に所属。具体的な活動にはほとんど貢献できず、結団式（＝飲み方）に出てばかりなのですが、おかげさまで、仕事の立場を離れ、地域の皆さんとの交流を楽しんでいます。

平成19年以来の住民ということ、まだまだ新参者ということになりましょうか。また、近くに親や親類縁者が住んでいるわけでもありません。そのようなわが家にとって、温かく受け入れてくださるこの地域の皆さんには、本当に感謝しております。

これからも、子供を中心に地域と関わりつつ、自然や歴史豊かなこの地区での生活を満喫し、様々な行事にも積極的に参加していきたいと思えます。家族共々どうかよろしくお願ひいたします。



徒然草・・・
「絆」編集集中に三月十一日を迎えた。亡くなられた方に心からのご冥福を祈りながら、一人の中学生の事を思い出した。マスコミではあまり取り上げられなかったが、ネットでは有名な話だ。大震災発生直後、大津波警報がNHKのTV画面で赤く点滅していた。広島の中2年生の男子生徒が「この画面をインターネットに流したら助かる人がいるかも知れない」と考えた。しかし、相手は天下のNHK、「あとでどうなることか？」と脳裏をよぎったそう。どういう事か？・・・完全な違法配信になるから。しかし彼は手持ちのアイフォーン（携帯電話）で動画投稿サイト「ユーストリーム」に配信した。気づいたユーストリームアダプの担当者は迷った。普通なら直ちに配信停止措置をとる内容だ。ユ社の社長は「自分たちの判断で配信停止するのはやめておこう」と指示した。NHKからの要請がきたら従おうと・・・。NHKの公式アカウント（の職員）も気がついた。彼は少年の無断配信のアドレスを自分のツイッター（短文を投稿できる情報サービス）に書いて紹介した。そしてこう付け加えた。「私の独断なので、あとで責任はとります」。のちに彼は言った。「免職になるかもしれないと思ったが、それで一人でも助かる人がいるのなら」と思い、ツイッター（ツイッターに投稿すること）「しました」。結果として3人の行為は多くの人々を救った。停電でTVも見られない中、携帯で知って避難した人が大勢いた。今回の件はいつでも、どんな時でもやって良いという訳ではない。違法でも助かる命があるならと決断した中学生、止めなかった社長、他の人にひろげたNHK職員。
ここ大宮に住む沢山の小学生・中学生たち。将来を背負う君たち一人ひとりに考えてもらえたら嬉しい。有事の際に自分のできる事は何なのだろうか・・・。

『編集後記』

「会うは別れの始め」と言います。コミュニティ大宮でも退職と移動があり、皆さんが小誌を手にもされる頃には、顔ぶれが変わっていると思います。昔、恩師から「日頃は目立たなくても構わない。去りゆくときに、『惜しい・寂しい・困った』・・・と言われる人間になりなさい」と言われた事があります。去りゆく職員が皆さんの心にそう思われる何かを残していたなら幸いです。本当にお世話になりました。そして、新しい職員をどうぞ宜しくお願ひいたします。（S）